

1. 科目名 (単位数)	開発経済論 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP3118						
2. 授業担当教員	谷口 彰一								
4. 授業形態	講義、集団討議、学生との応答などを併用する。	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	開発経済学は、一国が低開発段階から経済発展を遂げるために必要な要素・政策や成長の制約要因を、経済学的手法により探る学問である。本講義では低開発段階から経済発展を遂げるために必要な様々な経済的条件に着目して講義を進める。途上国の国々には、比較的大きな経済成長・経済発展がみられる国もあるが、発展のパスに乗れていない国も存在する。発展を遂げた国、未発展・低開発の国それぞれに共通する政策や問題点を事例を交えながら指摘し、経済発展のために今後どのような開発が必要かについて論ずる。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開発経済学の観点から発展途上国が抱えている問題を理解する。 2. 途上国諸国の経済発展の歴史と発展するための条件を理解する。 3. 経済発展の進んだ国と遅れている国の違いは何かを理解する。 4. 途上国間の地域統合やサブリージョナルの経済統合の動きを理解する。 5. わが国と途上国諸国との経済的な結びつきを理解する。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業内 (初回授業) で周知する。								
10. 教科書・参考書・教材	黒崎卓・栗田匡相著『ストーリーで学ぶ開発経済学』、有斐閣ストゥディア、2016								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開発経済に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 経済学的な思考が身についたか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>2 期末試験</td> <td>総合点の 50%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> </table>			1 授業への積極的参加	総合点の 20%	2 期末試験	総合点の 50%	3 課題レポート	総合点の 30%
1 授業への積極的参加	総合点の 20%								
2 期末試験	総合点の 50%								
3 課題レポート	総合点の 30%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は、下記のことを守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①授業には欠席、遅刻、早退はしないこと (欠席、遅刻、早退の場合は、その理由を書面にて提出のこと)。 ②授業中理解できなかったことは、そのまま放っておかず質問すること。 ③授業中は私語、居眠りをしないこと。また、携帯電話のスイッチは切っておくこと。 ④授業中は緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加すること。 ⑤課題の提出期限を遵守すること。 								
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション (講義概要の説明) 経済発展とは	事前学習	教科書 pp.2-12 を読んでまとめる。						
		事後学習	経済発展とは何かとその要件をまとめる。						
第 2 回	農業	事前学習	教科書 pp.14-29 を読んでまとめる。						
		事後学習	途上国における農業の低生産性についてまとめる。						
第 3 回	マイクロファイナンス	事前学習	教科書 pp.32-50 を読んでまとめる。						
		事後学習	マイクロクレジットが機能した理由とその限界について整理する。						
第 4 回	人的資本 (1) (教育の男女格差、信用制約、子供の健康問題)	事前学習	教科書 pp.52-64 を読んでまとめる。						
		事後学習	経済発展における教育の効果についてまとめる。						
第 5 回	人的資本 (2) (途上国における教育問題のディスカッション)	事前学習	教科書 pp.64-68 を読んでまとめる。						
		事後学習	教育を投資とみなす理由について具体的にまとめる。						
第 6 回	労働移動 (1) (ルイスモデル、ハリス＝トダロモデル)	事前学習	教科書 pp.70-80 を読んでまとめる。						
		事後学習	偽装失業についてまとめる。						
第 7 回	労働移動 (2) (新しい移動の経済学、グローバル化した移動研究)	事前学習	教科書 pp.80-87 を読んでまとめる。						
		事後学習	頭脳流出と呼ばれる現象のメリット・デメリットをまとめる。						
第 8 回	経済成長と工業化 (1) (経済成長のメカニズム)	事前学習	教科書 pp.90-98 を読んでまとめる。						
		事後学習	資本蓄積と生産性の 2 側面から経済成長について整理し、まとめる。						
第 9 回	経済成長と工業化 (2) (東アジアの奇跡)	事前学習	教科書 pp.98-106 を読んでまとめる。						
		事後学習	東アジアの奇跡が生じた理由をまとめる。						
第 10 回	技術移転	事前学習	教科書 pp.108-123 を読んでまとめる。						

		事後学習	技術移転と経済発展の関係についてまとめる。
第11回	開発金融	事前学習	教科書 pp.126-142 を読んでまとめる。
		事後学習	開発金融と経済発展の関係をまとめる。
第12回	開発援助 (1) (途上国への資金流入)	事前学習	教科書 pp.144-153 を読んでまとめる。
		事後学習	日本の経済協力についてまとめる
第13回	開発援助 (2) (援助の氾濫やファンジビリティ問題、RCT)	事前学習	教科書 pp.153-161 を読んでまとめる。
		事後学習	ランダム化比較実験について整理し、まとめる。
第14回	持続可能な開発 (1) (環境クズネツ曲線)	事前学習	教科書 pp.164-170 を読んでまとめる。
		事後学習	途上国における持続可能な発展とは何かについてまとめる。
第15回	持続可能な開発 (2) (地球温暖化問題と途上国)	事前学習	教科書 pp.170-182 を読んでまとめる。
		事後学習	地球全体での環境問題に対する対策について整理し、まとめる。